

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 800 号	氏名	高月 英 恵
学位審査委員	主 査	中 込 治	
	副 査	泉 川 公 一	
	副 査	平 山 謙 二	
<p>論文審査の結果の要旨</p> <p>1 研究目的の評価 本研究は、致死性神経変性疾患の原因であるプリオンの高感度かつ迅速な定量法を確立しようとしたものであり、目的は十分に妥当である。</p> <p>2 研究手法に関する評価 プリオン病患者の 10 剖検例に由来する脳組織乳剤 (brain tissue homogenate) の 10 倍段階希釈を被験材料として、エンドポイント Real-time quaking induced conversion (RT-QUIC) assay によるアミロイド形成活性(シード活性)を定量化しようとしたものであり、その研究手法は妥当である。</p> <p>3 解析・考察の評価 上記手法で解析した結果、プリオン病患者脳組織の RT-QUIC 法によるシード活性は約 10 の 10 乗とマウスによる感染価測定法より約 100 倍高く、ドットプロットにて測定した異常型プリオンタンパク質の 0.12 フェムトグラムが 1 シード活性に相当した。また、熱処理により、シード活性の約 3 log の低下が観察された。本研究は、プリオンの高感度かつ迅速な定量法を確立したものであり、今後、患者体内のプリオン分布の様相を明らかにし、医療行為によるプリオン病感染の防止への戦略的展開が大いに期待される。</p> <p>以上のように本論文はプリオン病学研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士 (医学) の学位に値するものと判断した。</p>			